

# シュロの会たより

平成30年9月16日発行  
発行責任者：シュロの会  
NO128

## トピックス

### 精神疾患患者の入院 50年以上の入院1,773人 全国調査

精神病床のある全国の病院で50年以上入院する精神疾患の患者数が、2017年6月末時点で少なくとも1773人に達することが毎日新聞の調査で判明した。半世紀にわたり継続入院している患者数について公的な統計は取られていない。厚生労働省は入院患者の地域移行を掲げて削減を目指しているが、人生の大半を病院で過ごす人たちが数多くいる実態が明らかになった。

国立精神・神経医療研究センター(東京都小平市)が47都道府県・20政令市を通じ、民間を含め精神病床のある病院から毎年6月末時点の患者に関する情報提供を受けていることから、毎日新聞は各自治体に対し、センターに提出した資料を情報公開請求したほか、担当部署を取材。全国の精神病床を持つ病院の97.7%に相当する1588病院について、1967年6月以前に入院した患者の人数を確認した。

神奈川県は「病院との取り決めに反する」として入院年月を明らかにしておらず、同県内の病院については横浜、川崎、相模原の政令3市所管分に限って把握できたため、人数はさらに増える可能性がある。

判明した中で記録上最も長期だったのは長崎県の患者で、1923年11月28日に入院していた。診断をみると、明記されていた1246人のうち統合失調症が約8割を占めた。性別は1433人確認でき、内訳は女性が758人、男性が675人だった。

入院の形態が判明した1291人のうち、自らの意思による「任意入院」は811人。専門医の判断で家族らの同意を得て、本人の同意がなくても病院に入れる「医療保護入院」は476人、自分や他人を傷つける恐れのある患者を知事らの権限で強制入院させる「措置入院」は4人だった。

国立精神・神経医療研究センターは病院の現状を毎年調べており、17年は精神病床のある全国1625病院のうち1610病院から任意で情報提供を受けた。センターによると、入院患者は計28万4172人。入院期間が20年以上の患者については集計しており、2万5932人だった。【畠山哲郎、山崎征克】

## 長期化する前に対応を

辻井誠人・桃山学院大教授(精神保健学)の話 半世紀も病院から出られない人が1700人以上いることを重い現実として受け止めるべきだ。患者は高齢になるほど生活能力が低下し、退院のモチベーションを失ってしまう。日本では隔離收容政策の下、病院が精神疾患患者の受け皿になってきたが、適切な治療で患者は地域で暮らせるようになる。入院が長期化する前の対応が欠かせない。

## 活動報告

精神保健福祉講演会&パネル討論会（2018年8月19日 くにたち福祉会館）

第1部 野村忠良氏【家族として精神疾患に向き合い、見えてきたこと】

第2部 野村忠良氏・シュロの会【家族会と精神保健福祉の現在・未来】

### これほど苦しいことが世の中にあるのでしょうか？

これほどつらく、これほど悲しいことが。しかも、つらいことはすべて、身近なものなのです。苦しい圧力は、大切な家族からのもの、近くに住む方々からのもの、そして心配な気持ちを整理できない自分自身がもとになっていると考えられます。簡単に逃げ出すことができません。

### 野村様の言葉、体験、苦しみ、思いに、誰もが言葉を失い、

生命のエネルギーを止められるような感覚、感触となったのではないのでしょうか。弱い立場の人が社会的な支援を得るところか、周囲から白い目で見られ、経済的な苦しさから抜け出せる希望を持たないまま、毎日、毎日、様々な、異なる種類の重圧に立ち向かわなければならないという現実がリアルに伝わってきました。

### 精神の障害をかかえる人を身近に持った場合

自分を最も愛してくれ、自分をもっとも大切にしてくれるはずの人がその病で苦しんでいたならば、家庭はどのような状況になり、そのメンバーはそれぞれ、どれほど厳しく苦しい毎日を送らなければならないかということが、とてもリアルに、とても強く、聴衆の一人ひとりに伝わってまいりました。

### たしかに、今よりもずっと偏見が強く、効果的な薬剤も少なかった時代

のことですから、現在は多少、状況は改善されたと思います。効果が大きく副作用が小さい薬剤も開発されました。患者を理解し、やさしく接する医療や福祉の従事者も増えていると思います。その一方、残念ながら、世間全般も、患者・家族の置かれた立場も、質的にさほど改善していないのも事実です。偏見は少なくなっただけでしょうか？経済状況は改善したでしょうか？希望は持てるようになったでしょうか？

### 状況が改善できない最大の理由は、

患者・家族の苦しい状況についての生の声が外に届いていないことだと考えます。しかし、苦しくて、あるいは偏見があるためにできないのです。ではどうするか？まず、**教育**だと考えます。そうして、もし、患者の家族が周囲を気にせず、つらさや困ったことを発言できるようになったら、そのときは、患者・家族は住みやすい社会に住んでいると言えるでしょう。そのような時代となることを目指しつつ、今回の講演会のように、野村様に、患者・家族を代表して、大変だったことや生の声をお伝えいただき、**①患者・家族には、つらさや苦しみの共有と、立ち向かうための勇気をいただき、②医療・福祉、そして行政の方々には、私たちの真の苦しき、ニーズを分かっただけいただくことが、**今回の講演会、パネル討論会の目的でした。その意味で、非常に有意義なお時間をいただきました。野村様、本当にありがとうございました。



## 第2回交流会・今後の活動予定

あくまでも

自主学習会です！

### テーマ 薬のことをもっと理解しよう！（自主学習会）

平成30年2月27日、日本神経精神薬理学会により『統合失調症薬物治療ガイドー患者さん・ご家族・支援者のためにー』が公開されました。このことから、この機を捉えて家族会としても薬について少し勉強しようと企画しました。

あくまでも家族会による**自主学習会**として実施しますので、皆さん気楽に参加してください。

#### 学習目標（到達目標）

- (1) 自分自身又は家族に処方されている抗精神病薬の種類を把握することができている。
- (2) シュロの会の会員間では、抗精神病薬の投薬量を、CP換算値を使って情報交換が行えるようになっている。

#### 【自主学習会】

- 1 日時 平成30年10月14日（日曜日） 午後1時30分から1時間程度  
※第2部として家族交流会を行いますので、お時間がある方は引き続きご参加ください。
- 2 場所 くにたち福祉会館3階中会議室  
国立市富士見台2-38-5  
TEL 042-575-3221
- 3 主催 精神保健福祉家族会シュロの会
- 4 テーマ 「薬のことをもっと理解しよう！」
- 5 持ち物 処方されている薬の説明書やお薬手帳等の処方されている薬がわかるもの
- 6 アクセス

【JR国立駅】乗車 4分

または【JR谷保駅から】 徒歩10分

↓ 国17：谷保經由府中駅行

↓ 国18：谷保經由聖蹟桜ヶ丘駅行

【国立高校前】下車 徒歩5分 詳しくは4頁を御確認ください。

#### 平成30年度 東京つくし会精神保健学習講座

### 精神科病院の医療現場で今何が

### ～隔離・身体拘束の実態とこれから～

日時：平成30年10月5日（金）13：30～16：00（開場12：30）

講師：長谷川利夫氏（杏林大学保健学部作業療法学科教授）

場所：東京都障害者福祉会館

JR山手線・京浜東北線徒歩5分 都営地下鉄三田線A8出口・浅草線A7出口徒歩1分

定員：99名 参加費：無料

主催：東京都精神保健福祉家族会連合会（東京つくし会）

申込・問合せ：東京つくし会 TEL・FAX 03-3304-1108

※9月25日までに直接お申し込みください。

## ○ 神奈川県立精神医療センター公開講座 第2回 認知症シンポジウム

日時 2018年10月27日(土) 13時30分～16時30分 (12時20分開場)

会場 横浜ランドマークタワー25階 バンケットルームA

パネリスト 齋藤 正彦氏 東京都立松沢病院院長

松下 幸生氏 国立病院機構 久里浜医療センター 副院長

コーディネーター 安田 新氏 神奈川県立精神医療センターもの忘れ外来担当医(認知症サポート医)

\* 事前申し込み 不要 入場無料 定員200名

お問い合わせ: 精神医療センター 地域医療連携室 (電話: 045-822-0241)

## ○ 精神保健福祉家族会シュロの会 ～第4回ミニ交流会・家族相談日～ のお知らせ

日時 2018年11月11日 13時30分～16時30分

会場 くにたち福祉会館

内容 ミニ交流及び家族相談

お茶を飲みながら、皆さんでお話をしましょう。待っています。

### くにたち福祉会館へのアクセス

精神保健福祉家族会シュロの会では、家族会員同士の学習会・勉強会、交流会や講演会の開催等、そして2か月に1回のミニ交流会・相談会を開催し、また活動しています。

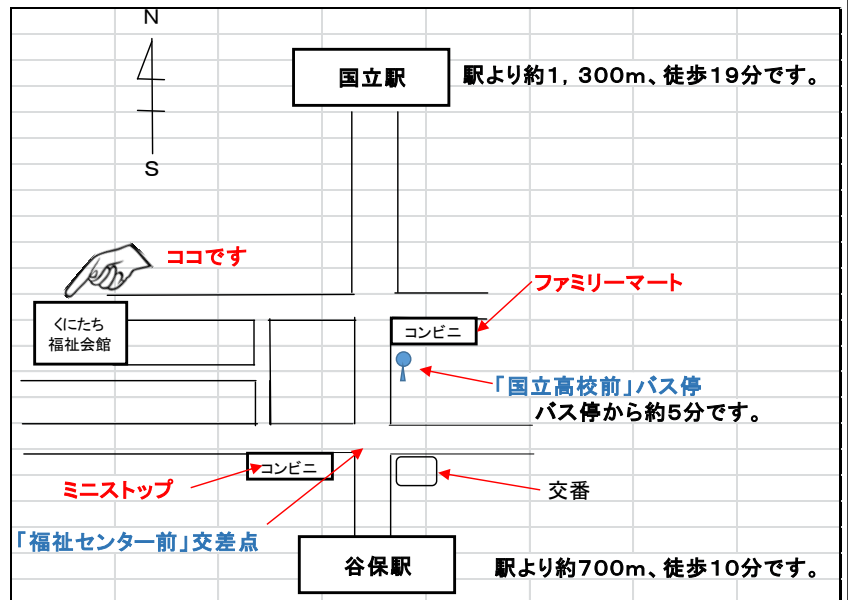
これらの活動拠点として利用しているのが「くにたち福祉会館」です。

ところが「交流会や講演会には興味があっても、くにたち福祉会館への行き方が分からない」という話を耳にします。そこで今回は「くにたち福祉会館」への行き方をご紹介します。

JR中央線「国立駅」から約1,300m徒歩約19分です。

バスでは、【国17:谷保経由府中駅行】、【国18:谷保経由聖蹟桜ヶ丘駅行】バスで「国立高校前」下車徒歩約5分です。JR南武線「谷保駅」から約700m徒歩で約10分です。

**是非参考にしてください。お待ちしております。**



### 編集後記

障害を持っている人も、病気を病んでいる人も、みんな自分のため家族のために仕事をしたいと思っています。仕事に就くことで、社会の一員として認められ、他の人と同じように地域で生活することができる喜びを皆が望んでいます。それを叶えたのが1960年に制定された身体障害者雇用促進法であり、1976年に事業主に雇用が義務付けられました。平成30年4月1日からは障害者雇用義務の対象に精神障害者も加わりました。しかし、本来「率先して雇用する立場」である国や自治体がガイドラインに沿って正しく対応しておらず、障害者雇用水増しの実態が明らかになり現在に至っています。今後は正しくガイドラインに沿って雇用されることを期待し、働ける障害者が増えていくことを望みます。

